

衛生法規に関する知識

問1 クリーニング業法に関する次の記述の（ ）に入る語句を、下の語群ア～コの中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) この法律は、クリーニング業に対して、公衆衛生等の見地から必要な指導及び（ ① ）を行い、もってその経営を（ ② ）に適合させるとともに、利用者の利益の擁護を図ることを目的とする。
- (2) 洗たく物をその（ ③ ）に応じ区分して処理すること。
- (3) 都道府県知事は、営業者が措置命令に従わないときは、期間を定めてその営業の（ ④ ）又はクリーニング所の閉鎖若しくは業務用の（ ⑤ ）のその営業のための使用の停止を命ずることができる。

<語群>

ア 時間短縮	イ 施設の基準	ウ 洗たく機	エ 公共の福祉
オ 検査	カ 色	キ 停止	ク 車両
ケ 用途	コ 取締り		

問2 クリーニング業法に関する次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング業とは、溶剤又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を原型のまま洗たくすることを営業とすることをいう。
- (2) この法律で「クリーニング所」とは、洗たく物の処理又は受取及び引渡しのための営業者の施設をいう。
- (3) 営業者は、伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして指定されている洗たく物を持ち込まれた場合においては、その洗たく物を受け取ってはならない。
- (4) クリーニング所を開設しないで洗たく物の受取及び引渡しをすることを営業としようとする者は、営業方法、従事者数その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。

(5) 都道府県知事は、営業者がクリーニング所の業務に従事するクリーニング師に対し、研修を受けさせない場合は、期間を定めてその業務を停止することができる。

問3 クリーニング業法施行規則に関する次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所においては、苦情の申出先となるクリーニング所の名称及び電話番号を店頭に掲示しておくとともに、洗たく物の受取り及び引渡しをしようとする際に、当該掲示事項を記載した書面を利用者に配布しなければならない。
- (2) クリーニング師の免許を受けようとする者は、クリーニング師試験合格地の都道府県知事に申請しなければならない。
- (3) 免許証の再交付を申請した後、失った免許証を発見したときは、7日以内に免許を与えた都道府県知事に提出しなければならない。
- (4) クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、10日以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
- (5) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後2年以内にクリーニング業法の規定による研修を受けるものとする。

問4 クリーニング業において、消毒が必要とされているものを、下の語群ア～コの中から5つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

<語群>

ア	タオル	イ	靴下	ウ	パンツ (下着)	エ	ズボン
オ	おむつ	カ	帽子	キ	手ぬぐい	ク	給食衣
ケ	Tシャツ	コ	病院の患者が使用した枕カバー				

公衆衛生に関する問題

問5 次のクリーニングに関する説明文について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 照明器具は少なくとも1年に3回以上清掃するとともに、常に適正な照度維持に努めること。
- (2) 洗濯物を防虫・防水等のため薬剤又は樹脂により特殊加工を施す場合は、その量及び濃度を適正にして使用し、余剰の薬剤等を十分に除去すること。
- (3) ランドリー処理のすすぎには、清浄な水を使用して少なくとも2回以上行うこと。また、この場合、工程中に強制脱水を行うことが望ましいこと。
- (4) 受け取った洗濯物については、指定洗濯物を別に区分して取り扱うこと。
- (5) ランドリー処理の本洗には、60℃以上の温水を使用することが望ましい。

問6 次の説明文について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 腸管出血性大腸菌O157による食中毒は、肉料理の加熱不足が原因であり野菜サラダや漬け物が原因となることはない。
- (2) 腸管出血性大腸菌O157による食中毒の主な症状は下痢及び腹痛であるが、溶血性尿毒症症候群等により死に至ることがある。
- (3) ノロウイルスによる食中毒は、特に夏に多く発生する。
- (4) はしかは感染力が非常に強く、予防接種が唯一の有効な予防策である。
- (5) 梅毒は過去の病気であり、現在ほとんど日本では発生していない。

問7 次のクリーニングに関する説明文について、最も関係する法律を下の選択肢から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) ドライクリーニング溶剤を含む残渣の処理を業者に委託するにあたり、業者にマニフェストを交付した。
- (2) 引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場については、住居系地域や商業系地域における立地を禁止している。
- (3) 洗濯業の用に供する洗浄施設は、特定施設に該当し届出が義務付けられている。
- (4) ドライクリーニングに用いる石油系溶剤等の有機溶剤を対象として、作業主任者の選任、有機溶剤蒸気の発生源対策、特殊健康診断等を定めている。
- (5) テトラクロロエチレンによるドライクリーニング機（密閉式のものを除く）であって、処理能力が1回当たり30キログラム以上のものを有する施設は指定物質排出施設として指定されており、テトラクロロエチレンの排出量が指定物質抑制基準により規制されている。

<語群>

ア 大気汚染防止法	イ 水質汚濁防止法	ウ 水道法
エ 労働安全衛生法	オ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
カ 下水道法	キ 消防法	ク 建築基準法

問8 次の説明文について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 病原体を物理的又は化学的方法により死滅させ、あるいは感染量に達しない程度まで大幅に減少させることを消毒という。
- (2) 蒸気による消毒は、蒸気がま等を使用し100℃以上の湿熱に10分間以上触れさせる。
- (3) 熱湯による消毒は、100℃の熱湯で10分間以上浸す。
- (4) 塩素剤による消毒は、さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素250ppm以上の水溶液中に30℃以上で10分間以上浸す。
- (5) 界面活性剤による消毒は、逆性石けん液、両性界面活性剤等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に30℃以上で30分間以上浸す。

洗たく物の処理に関する知識

問9 次の説明文について、当てはまるものを下の語群ア～コの中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) アセテートは (①) に似た光沢と深みのある鮮明な発色を特長としている。
- (2) SR加工とは、ソイル・リリースの略で、合成繊維の (②) のひとつである。
- (3) アルカリ剤は、pH (③) に保つことで洗剤の洗浄を助ける。
- (4) シミ抜きの潤滑作用とは、固形石けん、(④) 等の潤滑剤を利用して、微細な不溶性汚れを滑らせて除去するものである。
- (5) 毛皮は、(⑤) クリーニングをする。

<語群>

ア	しわ加工	イ	ワセリン	ウ	10～11	エ	絹
オ	ドライ	カ	パウダー	キ	防汚加工		
ク	5～6	ケ	グリセリン	コ	麻		

問10 次の説明文について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 綿の繊維長は、平均して1.5～4.0cmと麻や羊毛に比べて長い。
- (2) 麻のニット製品は、縦方向が収縮し、横方向に伸びやすく、全体的に形態変化を起こしやすい。
- (3) ナイロンボタンは、強度がなく割れやすい。
- (4) ドライクリーニングをする時は、ボタン保護のため、アルミホイルやカバーでくるんだり、場合によっては取り外す。
- (5) 石油系ドライ機の使用時の注意として、引火点が30℃以上の石油系溶剤を使用する。

問 1 1 次の説明文について、【 】のうち正しい方を選び、解答欄にAまたはBを記入しなさい。

- (1) レーヨン、原料の木材パルプから【A. 綿 B. 絹】の外観に似せて人工的につくった再生繊維である。
- (2) ビニロンは、合成繊維の中では最も吸湿性が【A. 高く B. 低く】、強度があり、摩擦に強い。
- (3) ポリエステルの細いマクロファイバーなどの新合繊の長繊維糸を用いた織編物の表面を軽く起毛し、ソフトでサラッとした感触とする加工を【A. ピーチ B. エンボス】加工という。
- (4) タンニン系のシミには【A. アルカリ性 B. 酸性】のシミ抜き剤を使用する。
- (5) 絹和服の洗浄は、【A. 石油系溶剤 B. アルカリ系洗剤】によるブラシ洗いに重点が置かれ、ワッシャーによる処理はすすぎを行う程度にとどめる。

問 1 2 JIS L 0001 による取扱い表示記号と意味の組み合わせについて、正しいものには○、間違っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- (1) 液温は30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる。



- (2) 塩素系及び酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる。



(3) 低い温度でのタンブル乾燥ができる (排気温度の上限は60℃)



(4) 日陰での平干し乾燥がよい。



(5) 底面温度150℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。

